

データで紐解く球場運営 NPB観客動員数分析

2021-2025年シーズンデータに基づくビジネスインサイト

背景と目的

課題: チケット収入は球団経営の要。

目的: 観客動員数(Attendance)に影響を与える重要要因を特定する。

手法: Pythonによるデータ分析(Pandas, Seaborn)。

データ概要と前処理 (Data)

使用データ: `games.csv` (試合日程・結果・観客数)。

特徴量エンジニアリング:

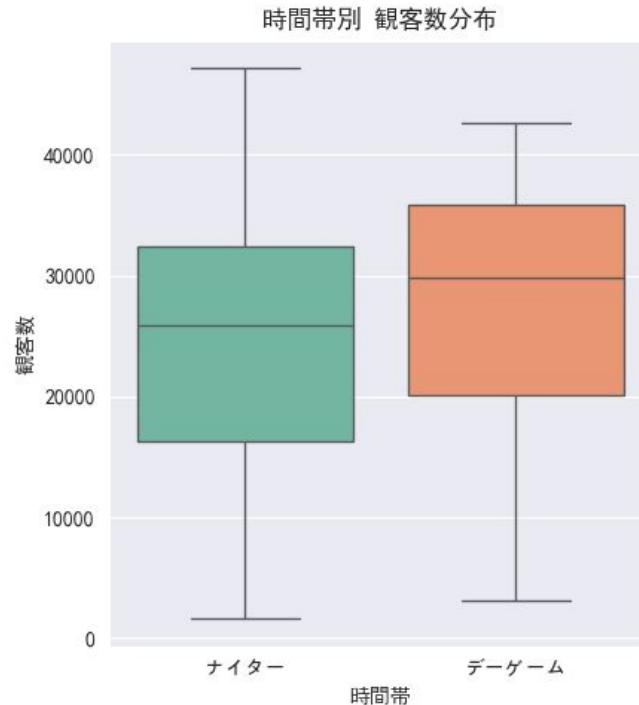
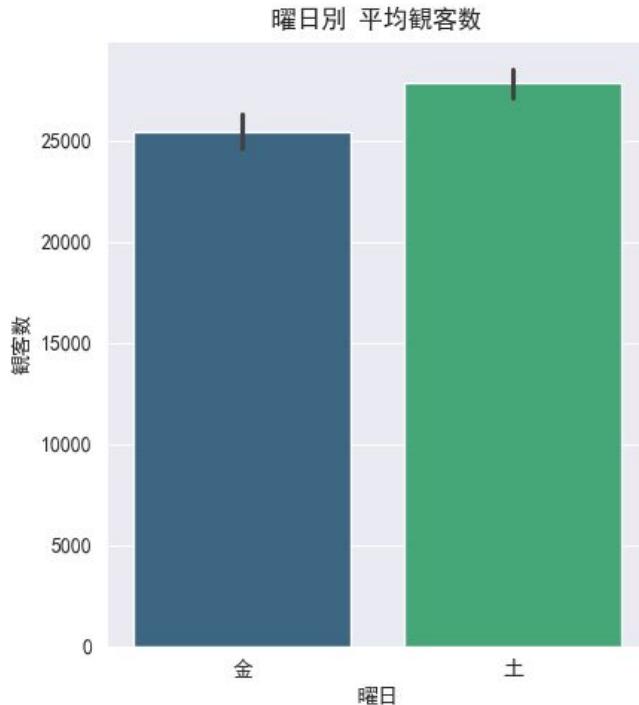
- 日付 → 「曜日」を抽出
- 開始時刻 → 「デーゲーム / ナイター」に分類

主要指標: `attendance` (観客動員数)

分析結果①: 時間軸の影響 (When)

ファインディング:

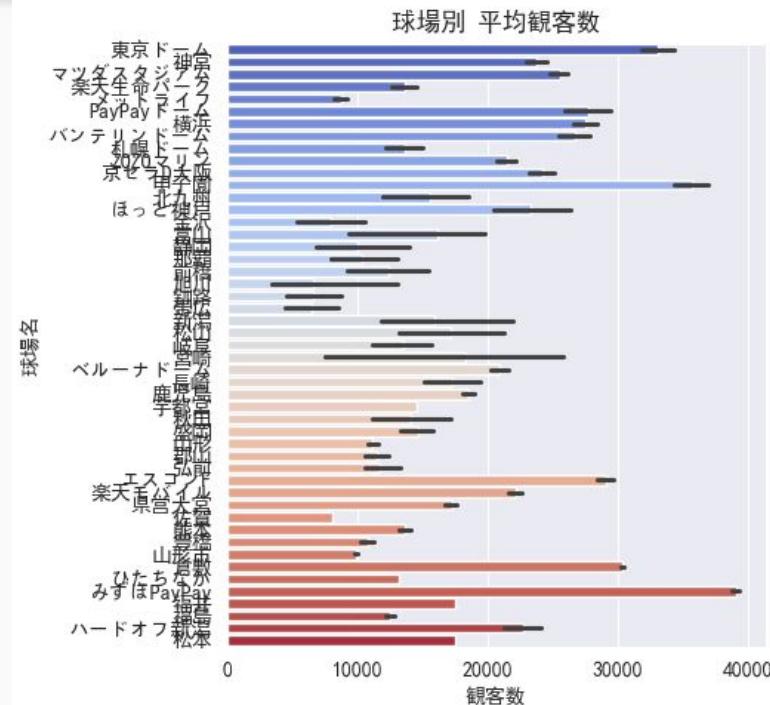
- 金・土曜日の動員増(週末効果)。
- デーゲームの安定的な集客力。



分析結果②: データの背景と特異性 (Context)

重要な気づき (Critical Thinking):

- 最大動員数が約16,000人にとどまる。
- 考察: 2021年のコロナ禍による入場制限の影響。



ビジネスへの提言 (Actionable Insights)

提言1: ダイナミックプライシング

- 週末(金・土)のチケット価格を10~20%上乗せし、利益率を高める。

提言2: 平日の集客施策

- 火~木のナイトに「ビール半額デー」や「会社員向け企画」を集中投下。

提言3: 日程の最適化

- 人気カード(巨人戦など)を、集客力の高い「週末のデーゲーム」に配置。

まとめと今後の展望 (Conclusion)

まとめ: 勘と経験ではなく、データに基づいた運営へ。

Next Step:

- 選手データ (stats_pit.csv等) を結合。
- 「スター選手」の出場が動員に与える経済効果を算出する。

ご清聴
ありがとうございました